

平成28年度家庭教育応援プロジェクト 第1回地域家庭教育推進県中ブロック会議

□ 日 時

平成28年6月23日(木)
13:30～16:30

□ 会 場

郡山市労働福祉会館



福島県教育委員会では、本県の家庭教育の現状と課題を踏まえ、家庭教育の推進や地域の教育力の向上をめざし、平成26年度より「地域でつながる家庭教育応援事業」として、PTAと連携した家庭教育について親自身が学ぶ機会が充実するための支援や、地域で主体的に家庭教育の支援が行えるよう学習プログラムの作成、企業と連携した家庭教育を推進しております。

これらの事業の一つとして県内7地区において、学校・家庭・地域が連携し、家庭教育の推進・子どもたちの生活習慣の向上や課題解決に向けて実践的な活動がなされるよう、PTA・学校・地域の子どもに関わっている諸団体・家庭教育支援ボランティア実践者・企業の代表者等による「地域家庭教育推進ブロック会議」を設置し、協議を行っています。

今年度のスタートとなる第1回の会議では、本年度取り組む課題を確認するとともに、今後の推進に向けて活発な意見交換がなされました。

【出席者】

- 県中ブロック会議アドバイザー（学識経験者）
- 須賀川市中央公民館長
- 岩瀬地区PTA連合会副会長（須賀川市立西袋第二小学校PTA会長）
- 石川郡連合PTA会長（浅川町立浅川小学校PTA会長）
- 田村地方PTA連合会会長（小野町立小野中学校PTA会長）
- 郡山市子ども会育成連絡協議会会長
- 郡山市スポーツ少年団副理事長
- 郡山市片平地区主任児童委員
- 石川町主任児童委員
- 郡山警察署生活安全課専門少年警察補導員
- 家庭教育支援県中協議会会長
- 須賀川市放課後子ども教室安全管理員
- 郡山市青年会議所理事長
- 国際メディカルテクノロジー専門学校教務部長
- 郡山情報ビジネス公務員専門学校保育士

【日程】

時 間	内 容
13:30～	開 会 行 事 ○ 主催者挨拶 ○ 事務局員自己紹介
13:40～	自 己 紹 介 ○ 所属先と各団体の活動紹介
14:10～	事 業 説 明 ○ 「地域でつながる家庭教育応援事業」の概要と「地域家庭教育推進県中ブロック会議」について
14:20～	経緯と現状説明 ○ 昨年度までのブロック会議の経緯と本地区の家庭教育の現状と課題について
14:30～	プログラム紹介 ○ 「子ども達を健康に導く運動プログラム」紹介
15:00～	情 報 提 供 ○ 郡山警察署補導員による情報提供
15:20～	協 議 1 ○ 課題解決に向けた本地区の取組について ア メディアコントロールへの取組 イ 子どもの健康・体力向上に対する取組
15:50～	協 議 2 ○ 親子の学び応援講座等への取組について
16:05～	協 議 3 ○ 家庭教育応援企業推進活動への取組について
16:25～	閉 会 行 事 (御礼のことば、諸連絡)

プログラム紹介

「子ども達を健康に導く運動プログラム」

国際メディカルテクノロジー専門学校教務部長 岡崎史紹 氏

- プログラム開発の背景 … 震災後の運動能力の低下、肥満傾向児の増加
運動能力の二極化、投力の低下、外遊びの時間の減少
- H25年度 『福島の子ども達を健康に導く運動プログラム開発と指導者育成事業』
- H26・27年度 『福島の子ども達を健康に導く運動プログラム普及と指導者育成事業』
※「東日本大震災からの復興を担う専門人材育成支援事業(文部科学省委託事業)」として事業運営
- プログラムの開発コンセプト
 - ・室内の限られたスペースで…外遊びの代替ツール、家でも実践
 - ・親子で楽しく…親子の触れ合い、保護者が子どもの運動量を管理
 - ・運動の苦手な子どもでも取り組める…神経系を刺激する多種多様な動き
- 「幼児期運動指針」にも合致したプログラム

情報的提供

「スマートフォンやSNSによるトラブルや少年犯罪の現状」

郡山警察署生活安全課専門少年警察補導員 安齊かおり 氏

- 最近の傾向… ネットによる被害、個人情報漏洩、SNS投稿・炎上
- SNS…顔が見えないため不特定多数とつながりやすい ex.)LINEによる被害
- 平成27年度は、出会い系サイト、コミュニティサイトでの被害、相談件数が増加
加害者＝成人、被害者＝子ども
- ネットで出会った人とは絶対会わない
- スマホの利用…・フィルタリング機能の活用＝親子で相談して
・持たせるときの家庭での約束が大切

協議 1 課題解決に向けた本地区の取組について

(1) 課題1「メディアコントロール」と関わって

- 本中学校区では3年前よりメディアコントロールの取組を実施している。取組に差が見られるようにも思うが、「自発的にコントロールできるようになった」という声も聞かれる。
- 昨年度からノーメディアデーを設定しているがあまり浸透していないように感じる。
- 家庭の問題が大きいのではないかと。情報端末にコントロールされていることが課題。
- 自動車には自動車学校や免許があるように、スマホにも法的なルールが欲しい。
- スポーツ少年団の活動中には、休憩時間等にゲームやスマホをしている子どももいる。
- 学校行事で交通教室があるように毎年メディア講習会をやるべきである。
- メディア（HP、SNS、プレス）などを活用して情報を発信している。いい形で利用するよう推進している。
- 便利さばかりでなく、アナログ、不便な世界を味わわせることも。親、大人がコントロールしなければならない。

(2) 課題2「子どもの体力向上」と関わって

- 本校では、昨年度授業参観終了後親子のダンス体験を実施した。「子どもの笑顔を見てほほえましかった」などの声が聞かれた。
- 運動面に関しては、スポ少に加入している子どもとそうでない子どもの二極化が見られるのではないかと。
- 本日説明があった「BALL GAME」でU6、U8のプログラムの紹介があったが親の言うことを聞かなくなるU8以上の世代に対するプログラムが必要ではないかと。
- 本町では廃校となった小学校にプレイパーク（屋内遊び場）を設置することを検討している。本日の「BALL GAME」は前向きに検討したい。
- 運動面では二極化が進んでいる。
- 児童クラブに入ったばかりの1年生で、年度当初はテレビが見たくて我慢できなかった子ども、友達と遊ぶことの楽しさを覚え、2ヶ月ぐらいでテレビが見たいと訴えることが無くなったという事例があった。
- 子どもたちは外遊びの仕方を知らない。
- 体力の低下は県内どこも同じである。公民館でも太鼓やダブルダッチなどの講座とともに、野外に出て行く講座、汗を流す講座を設けている。

【アドバイザーより】

- ノーメディアデーを設定していると言うことは、無法地帯でなくなったということ。それだけでもいい傾向といえるのではないかと。PTA活動として実体験をさせることが大切ではないかと。
- 次回のブロック会議の際に各委員の実践を発表して頂く。各母体に戻って取り組みをお願いしたい。



協議 2 親子の学び応援講座等への取組について

- 本年度の取組の説明（事務局より）
 - ・目的 主として幼稚園・小学校における家庭教育の推進に向けて、各地区にモデルPTAを設置し、親の学び・家庭での実践を図る。
 - ・今年度取り組んでいく課題の一つである「子どもの体力向上」と関わって、親子の学び応援講座では「福島子ども達を健康に導く運動プログラム」を実施していく。
 - ・体力の向上だけが目的では無く、メディア漬けからの解放、親子の触れ合いの場の提供、親の育ちの支援といったねらいを含んでいる。
- 各推進委員、団体で取り組めることがあれば実施して欲しい。
- 学校に紹介し希望があれば連絡をする。

協議 3 家庭教育応援企業推進活動への取組について

□ 郡山青年会議所の取組紹介

- 20~40代の青年経済人が会員。毎年役員が代わるが本質は変えない。郡山のために文化、経済、青少年問題など、様々な角度からまちづくり、ひとづくりを考え、行政や市民の方々とともに各種事業に取り組んできた。
- 市内中学生を対象とした文学賞「久米賞・百合子賞」は、発足当初から今日まで継続されている。
- 各種取り組みの紹介
 - ・「こおりやま みらい☆シティ」…出店企業を募集中
 - ・「スマイルサマーキャンプ」…自然体験、共同生活、団体行動体験により豊かな社会性を身に付ける
 - ・「誰でも」必ず小説がかける超ショートショート講座



□ 家庭教育応援企業推進活動への取組について

- これまでの取組の評価とブロック会議での指摘を踏まえ、商工会議所や青年会議所等との連携について取り組んできた。
 - 今年度、企業代表として郡山青年会議所の理事長様に推進委員として参加して頂いたことは大きな意味がある。
 - 今年度120を超える企業様に登録を頂いている。数の力は大きい。学校、地域、企業、社会全体で家庭教育、子育てを支援していく体制を築いていきたい。
- 登録した家庭教育応援企業が一堂に会して意見を交換する機会があっても良いのではないか。